

テレビ番組の視聴環境を充実させる「RECBOX DR」を発売  
他社映像機器との相互互換性を強化したリモートアクセスの決定版！

株式会社アイ・オー・データ機器(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:細野 昭雄、以下アイ・オー・データ)は、「DLPAリモートアクセスガイドライン 2.0」に準拠し、テレビ番組の視聴環境を充実させたレコーディングハードディスク「RECBOX DR シリーズ」を12月中旬より発売いたします。

ハイビジョンレコーディングハードディスク

RECBOX DR



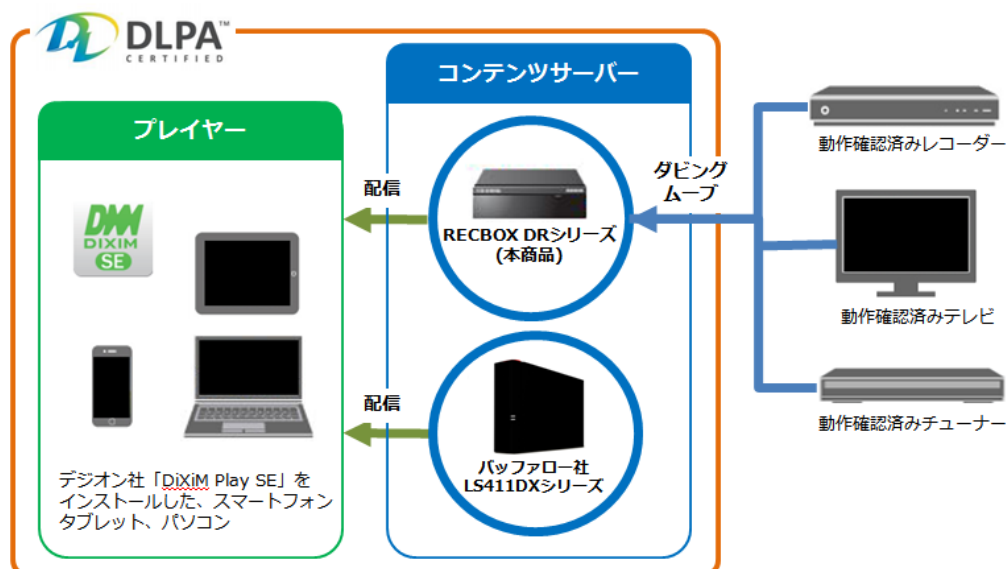
商品名称	RECBOX DR シリーズ
型番	[2TB] HVL-DR2.0 [3TB] HVL-DR3.0 [4TB] HVL-DR4.0
定価	オープンプライス
本体サイズ	127(W) x 210(D) x 45(H)mm (突起部を除く)

「DLPAリモートアクセスガイドライン 2.0」とは、一般社団法人デジタルライフ推進協会(DLPA)が2014年8月に策定しました異なるメーカー間でも相互にリモート接続を可能とするガイドラインです。さらに、次世代放送推進フォーラム(NexTV-F)が策定した「デジタル放送受信機におけるリモート視聴要件 (NEXTVF TR-0001)」(以下NexTV-F 要件)に準拠可能であり、今後幅広い利用が期待されます。

スマートフォンが普及する中、インターネットを介してテレビ番組を外出先で視聴する「リモートアクセス」への要望が高まっております。これまでの「DLPA リモートアクセスガイドライン 1.0」は、再生する端末「プレイヤー」は、番組を配信する「コンテンツサーバー」と一体での提供となっておりましたが、「DLPA リモートアクセスガイドライン 2.0」では、異なるメーカー間でも相互互換を可能としており「コンテンツサーバー」に依存することなく、準拠した「プレイヤー」であれば、異なるメーカーの端末からでも録画したテレビ番組を楽しめます。

■「DLPA リモートアクセスガイドライン 2.0」で広がるリモートアクセスの相互接続環境

「DLPA リモートアクセスガイドライン 2.0」対応機器同士であれば、宅内はもちろん外出先からでも、インターネットを介してテレビ番組を楽しむことができます。



## ■DLPA2.0 対応機器・ソフトウェア一覧 (2014年11月19日現在)

- ・コンテンツサーバー : アイ・オー・データ機器製「RECBOX DR シリーズ(本商品)」
- ・コンテンツサーバー : バッファロー社製「LinkStation MyBox LS411DX シリーズ」
- ・プレイヤーソフト(iOS 用) : デジオン社製「DiXiM Play SE」
- ・プレイヤーソフト(Android 用) : デジオン社製「DiXiM Play SE」
- ・プレイヤーソフト (Windows ストアアプリ用): デジオン社製「DiXiM Play SE」

## ■「RECBOX DR シリーズ」の主な特長

### ・多種多様な端末で録画番組を視聴

本商品に保存したテレビ番組は、家の中だけでなく外出先からでもインターネットを利用して iOS 端末<sup>※</sup>、Android 端末<sup>※</sup>、Windows 8.1 搭載のタブレットやパソコン等、多くの端末から楽しむことができます。

※iOS 7.0.4~8.1、Android 4.1~4.4 搭載機器

各端末で視聴するには、デジオン社プレイヤーソフトの「DiXiM Play SE」が必要です。

本商品には、iOS/Android/Windows8.1 の 3OS に対して各 1 ライセンス付与しております。

### ・テレビ番組を外出先でスムーズに再生

通信速度にあわせて映像のサイズを変換し、最適な環境で視聴できる「Smartplaying<sup>®</sup> Engine」(トランスコード)を搭載。

Wi-Fi やモバイル回線といった通信環境を意識することなく、いつでも映像をスムーズに楽しむことができます。



搭載ハードウェア(イメージ)

### ・DTCP-IP<sup>※</sup>対応テレビで視聴可能

本商品は DTCP-IP に対応しています。  
DTCP-IP 対応のテレビやレコーダーであれば録画した番組を本製品にダビングができるのでバックアップ用途としてもお使い頂けます。



### ・予定追加機能

アップデートで以下の機能を追加する予定です。

- ・家庭用ハイビジョンビデオカメラの映像をスマートフォンへの配信に対応
- ・VDMS(仮想 DMS)機能で、家中のコンテンツを DLNA 機器でまとめて検索・再生
- ・スマートフォンで撮影した写真やビデオを、外出先から本製品へ保存
- ・設定変更や、レコーダーで録画した番組の本製品へのダビングを、外出先から操作
- ・複数の本製品のコンテンツ情報をプレイヤーでオフライン一元管理・リモート再生
- ・本製品以外にある家中のコンテンツを、スマートフォン向けにトランスコードして中継宅内配信

## ■商品の詳細情報はこちらへ

<http://www.iodata.jp/product/hdd/hdr/hvl-dr/>

## ■DLPA サイト

<http://dlpa.jp/>

※DTCP-IP とは、主に家庭内ネットワーク環境内で、著作権保護技術により保護されたコンテンツを伝送するため技術規格  
本リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

### 【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

事業戦略部 販売促進課  
担当: 納富(のうとみ)、宮尾  
TEL: 076-260-3625

### 【本製品に関するお客様の問い合わせ窓口】

インフォメーションデスク  
TEL: 0120-777-618

### 【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器  
代表取締役社長: 細野 昭雄  
本社: 石川県金沢市  
資本金: 35 億 8,807 万円  
(JASDAQ 上場、証券コード: 6916)  
ホームページ <http://www.iodata.jp/>